

地域限定

〔リトルア剤〕

農林水産省登録 第13746号

性状：赤褐色中空円筒様弾性物質

毒性：普通物

危険物：—

有効年限：3年

包装：1個×2×4

フェロディン®SL

有効成分：リトルアA ……………4.55 mg / 1個 リトルアB ……………0.45 mg / 1個

殺虫剤分類

-



農薬ガイドの適用表内(\*)および各項目については、i-農力サイトの「製品情報」や「農薬ガイドを見る」から、「農薬ガイドの見方」をご参照ください。

本剤の最新情報：こちらの2次元バーコードを読み取るとi-農力サイトに掲載されている本剤の最新情報がご覧になれます。

〔適用と使用方法〕 (※) 表中に記載のある作物をはじめ、ハスモンヨトウの加害する全ての作物に使えます。

適用場所	適用作物名	使用目的	適用害虫	1ha当り 使用量	使用時期
ハスモンヨトウ 加害作物 栽培地帯	いも類 豆類 なす科野菜 あぶらな科野菜 レタス れんこん にんじん ねぎ類 いちご たばこ まめ科牧草 等(※)	誘引	ハスモンヨトウ 雄成虫	2～4個	成虫発生初期から発生 終期まで

使用方法：本剤をトラップ1台当り1個取付けて配置する。  
取付けた薬剤は1.5～2ヶ月間隔で更新する。



## 効果・薬害等の注意

- 本剤はハスモンヨトウ雄成虫を連続的に誘引するので、トラップとの併用により雄成虫を誘殺し、産卵を減少させることを目的とする。産卵への影響はハスモンヨトウ成虫の密度が低いほど大きいので、被害を軽減するためには成虫発生初期(4～5月)から連続的に使用する必要がある。短期間あるいは成虫密度が高まってからの使用では効果は期待できない。
- 本剤は広い地域におけるハスモンヨトウの密度低下を目的とするので防除対象地域はハスモンヨトウ加害作物栽培圃場だけでなく、それらを含むできるだけ広範な地域とし、生産団地などを中心に、共同で毎年繰返し使用することが望ましい。おおよそ、10ヘクタール以下の面積では効果は期待できない。
- 本剤で誘引した雄成虫はトラップで捕殺する。本剤を取付けたトラップは、樹木や建物等から離れた風通しの良い場所に、地上1～1.5mの高さ(圃場内では作物より高い位置)に固定する。
- トラップ設置中は発生密度に応じて適宜巡回し、トラップが誘殺された蛾でいっぱいになる前に処理を行う。
- 本剤は1.5～2ヶ月たつと誘引効果が低下してくるので新しいものと交換する。(古くなったものをそのままにして新しいものを追加してもよい。)
- 使用済みの本剤は、ポリエチレン袋等に入れて密封した上、土中にうめるなど、ハスモンヨトウに影響のない方法で処理する。
- アルミ箔を開封して放置すると薬剤が揮散して効果が低下してしまうので、必ず使用直前に必要個数だけ開封する。
- トラップは防除対象地域に1ヘクタール当り2～4台の割合で設置することを標準とする

(2023年7月12日現在の内容)

住友化学の農業支援サイト:i 農力 <https://www.i-nouryoku.com/>

が、対象地域の条件によって適宜増減する。

- 周辺地域からの飛来が予想される場合は防除対象地域内周辺のトラップ数を密にする。
- 本剤の使用にあたっては、使用量、使用時期、使用方法等を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 直射日光をさけ、なるべく低温の場所に保管する。

## 〔品目特性〕

- フェロディンSLはハスモンヨトウの雌成虫が放出する性フェロモンを製剤化した製品です。  
本剤はハスモンヨトウの雄成虫を大量に誘引しますので、トラップとの併用により雄成虫を捕殺し、受精卵数を減少させることが可能となります。
- 有機JAS規格の定める有機農作物の生産に使用可能です。